

2010年1月5日（火） 日本経済新聞 7面

環境投信購入でポイントを獲得

中央三井

中央三井信託銀行が新たに日本株で運用する環境関連の投資信託を販売する。購入すると商品などに交換できる「エコ・アクション・ポイント」を獲得できる。同ポイントの対象となる投資信託は初めてという。環境関連への関心を背景に、個人への販売拡大を狙う。同ポイント制度は環境省の支援で民間で運営。今回の投資信託は運用会社が受け取る手数料の一部を温暖化ガス削減に役立てる仕組みを導入し、ポイント付与の対象になった。

2010年1月12日（火） 日本経済新聞 5面

エコ貢献でポイント

金融機関の参加増

通帳発行しない口座など

リサイクル活動への参加や環境配慮型のサービスの利用などでポイントが付与される「エコ・アクション・ポイント（EAP）」制度に参加する金融機関が増えている。通帳を発行しない口座開設や、社会的責任投資（SRI）ファンドの購入などでポイントを付与するサービスが相次いで登場。環境への関心の高まりを背景に、顧客拡大につなげたい考えだ。

同ポイント制度は、環境省の支援を受け、民間が運営。ポイントは商品や商品券と交換できる。銀行では、りそな銀行が個人向けに通帳を発行しない普通預金口座を開設すればポイントを配布。三井住友銀行も2月まで法人向けにインターネットバンキングの新規契約をすると抽選でポイントが当たるキャンペーンを実施している。中央三井信託銀行が販売をはじめた投資信託「エコの声」もEAPの対象。運用会社が受け取る手数料の一部を温暖化ガス削減に役立てる仕組みを導入した。